

A person wearing a red t-shirt, a plaid skirt, and a black beanie stands with their back to the camera, holding a checkered flag high above their head with both arms. They are on a city street. In the background, two people are riding bicycles towards the camera. The person on the left is wearing a blue jacket and a light blue helmet. The person on the right is wearing a black jacket, a black helmet, and goggles. The street is lined with buildings, some with graffiti, and utility poles. The sky is overcast. A red banner with the word "Electra" in white cursive is in the top right corner.

*Electra*

**READY.**

**SET.**

でも、まず先にご一読を。

**GO!**



新しいバイクで楽しむためのポイントをいくつか紹介しましょう。

**とにもかくにも 1-2, 1-2.**

ライドの前にバイク全体をチェックし、タイヤが適切な空気圧で保たれ、フロントホイールがしっかり固定されていることを確認してください。ホイールが外れるのは、ウィリーで起きては困ることナンバーワン。ホイールの取り付け方がよくわからなければ、中身を読みましょう。

**あなたの頭は大切です、守りましょう。**

ヘルメットで髪がぐちゃぐちゃになるのは嫌？でも、もっと嫌なことがあります。脳震とうです。さらに、あなたのバイクとマッチするヘルメットが用意されています。

**フロントホイールに手に持った買い物バッグ、ポーチ、拾った棒など、**

何も挟まらないようにしましょう。フロントホイールに何か挟まり、急停止すると、痛い目に遭います。

**乗る時は日夜を問わず、必ずライトを使いましょう。**

ライトを常に点灯させましょう。自動車の昼間点灯と同じです。研究から、ライトを晴れの日でも点灯させることが、自動車ドライバーに対して最も目立てる手段であることがわかっています。

**異音や普段はない振動がある？点検してもらいましょう。**

どんな問題も修理するのが走る前であれば簡単で安全です。そんな時は、Electra販売店を訪ねましょう。

**雨の日の泥よけのように、私たちがあなたを守ります。**

最寄りのElectraストアが解決できない問題があった場合、[customer@electrabike.com](mailto:customer@electrabike.com)までご連絡いただくか、Electra社長のケビン・コックス ([kc@electrabike.com](mailto:kc@electrabike.com)) まで直接ご連絡ください。

**このマニュアルを全て読みましょう。**

宿題のように思うかもしれませんが、読む価値はあります。25年もの路上での経験から、あなたと共有すべき数多くのことを学んできたのです。

## 何よりも先に

あなたが走りたくてうずうずしていることを、私たちは知っています。でもその前に、次のステップ1と2を完了させることが大切です。時間はかからないのでご安心を。

### 1 あなたのバイクを登録しよう

登録すると、あなたのシリアル番号（バイクの紛失や盗難時に重要）が記録され、あなたのバイクに関する安全上の問題が生じた際にElectraと連絡をとれるようになります。あなたのバイクに関して質問がある場合、それがはるか前に発売されたモデルでも、私たちは登録情報からわずか数秒でどのバイクかを特定し、あなたに最善のサービスを提供できます。

あなた自身やバイクを購入した店舗があなたのバイクをまだ登録していなければ、electrabike.comのホームページ最上部にある**サポート**ページから登録しましょう。時間はかからず、簡単です。



### 2 このマニュアルを読もう

このマニュアルには、あなたの安全に欠かせない事項が記載されています。あなたがバイクに長年乗ってきたとしても、新しいバイクに乗る前に、このマニュアルに記載された情報を読み、理解することが大切です。このマニュアルは、electrabike.comのホームページ最上部にある**サポート**ページからオンラインで読むこともできます。



あなたが保護者である場合、お子さんにこのマニュアルに記載された全ての安全に関わる情報を理解させましょう。

## このマニュアルの使い方

このマニュアルは、Electraの全てのバイクが対象です。あなたのバイクを使い続ける間は役に立つ情報が記載されています。

### 基本を知ろう

バイクに乗る前に、第1章の**基本**をお読みください。

電動アシストバイク (e-bike) を購入された場合、クイックスタートガイドと補足のe-bike オーナーズマニュアルも併せてお読みください。このマニュアルも、electrabike.comのホームページにある**サポート**ページでお読みになれます。

### 公式ホームページにも多くの情報が用意

最新の詳細情報は、electrabike.comでご覧いただけます。

## 警告表示に関して

このマニュアルには、次のような灰色の警告表示が出てきます:

**警告!** 灰色の枠内に記載された注意喚起の記号と文章は、重大な怪我や死亡を引き起こす恐れのある状況または行動に対する警告です。

この警告を表示するのは、あなた、あなたの大切な人、あるいはバイクに辛い思いをして欲しくないから。

あなたにも、私たちのようにバイクに乗って楽しんでもらいたいです。

止まれの標識でひっくり返り、チェーンを直して手が血まみれになり、舗装路で滑って転ぶのがどんなことか、私たちにはわかります。そんな経験をしてきたからです。そして、そのどれもが楽しい経験ではありませんでした。怪我をする恐れもあります。

したがって、この警告表示をしっかりと読みください。これが、あなたの安全を願うトレックにできることです。

## いつでも読めるよう、このマニュアルを大切に保管しよう

このマニュアルには、安全な乗り方と、基礎的な点検やメンテナンスの方法と推奨時期（第2章）が記載されています。あなたがこのバイクを使い続ける間は、大切に保管しましょう。また、保証の申請が必要となった時のために、このマニュアルと一緒に購入を証明するもの（レシートなど）も保管しておきましょう。

このマニュアルは、以下の規格に遵守しています: ANSI Z535.6; AS/NZS 1927:1998, CPSC 16 CFR 1512, ISO 4210-2 and ISO 8098.

# 基礎

- 7 安全に関する重要な情報
- 10 e-bikeに関する重要な情報
- 11 バイクショップと良好な関係を築くために
- 12 バイクに使用されるパーツ
- 14 初めて乗る前に
- 16 乗る前に必ずすること
- 20 安全のために
- 24 使用条件および重量制限
- 26 基本的な走行テクニック
- 30 お子さんと乗る場合

## 安全に関する重要な情報

バイクに乗る前に、この安全に関する重要な情報をお読みください。

### バイク自体は、事故が発生したときにあなたを守りません。

走行中の怪我の原因で最も多いのが、転倒です。追突したり強い衝撃を受けると、バイクはその勢いに耐えられず、あなたの身体が地面に叩きつけられるかもしれません。自動車にはバンパー、シートベルト、エアバッグ、クラッシュプルゾーンがありますが、バイクにはありません。あなたが転倒しても、バイクは怪我を防いでくれません。

強い衝撃、転倒、事故に巻き込まれたら、怪我をしていないか全身をチェックしましょう。次に、バイクをストアで点検してもらってから、再び乗りましょう。

### 自分の限界を知ろう

特にあなた自身の限界を超えて走ろうとすると、バイクは危険な乗り物になる場合があります。自分の技量を知り、その範囲内を超えて走らないようにしましょう。

### バイクの限界を知ろう 使用条件

あなたのバイクは、特定の使用条件内での「通常」走行でかかる負荷に耐えられるよう設計されています。(使用条件の項を参照)。その使用条件を超えて走行すると、バイクは応力や劣化により損傷する恐れがあります(このマニュアルには「劣化」という表現が頻繁に出てきます。これは、応力や負荷が繰り返しかかることで、素材が時間をかけて弱まっていくことを意味します)。いかなる損傷も、フレーム、フォーク、その他パーツの寿命を著しく短くさせます。

### 寿命

バイクは壊れないわけではなく、パーツも永遠にはもちません。トレックのバイクは「通常」走行で生じる負荷に耐えられるよう設計されています。それらの負荷の性質が、詳しくわかっているからです。

しかし、バイクを極端な環境で使用する、バイクが事故に遭う、レンタルや商業目的で使用する、あるいは高い応力や負荷がかかる何らかの方法で使用する場合は、バイクにどのような負荷がかかるかがわかりません。

損傷すると、全てのパーツの寿命は著しく短くなり、予告なく壊れることもあります。

パーツを安全に使える寿命は、その構造、素材、用途、メンテナンス頻度、ライダーの体重、速度、路面状況、周囲環境（湿度、塩度、気温など）で決まるため、正確な交換時期を示すことはできません。

負荷が多くかかる部位にひび割れ、ひっかき傷、変色があれば、そのパーツ（フレームとフォークを含む）は寿命に達しており、交換すべきです。バイクの点検や修理の方法がよくわからない、あるいは自分で行うのが不安な場合は、ストアに相談しましょう。

軽量なフレームやパーツは、重いものより寿命が長い場合があります。しかし、定期的なメンテナンスや、頻繁な点検とパーツ交換は、いかなるバイクにも欠かせません。

**警告:** バイクは、磨耗や高い負荷に影響を受けやすいです。素材やパーツにより、磨耗や劣化の現れ方はさまざまです。パーツの想定寿命を超えてしまうと、いきなり壊れることもあります。

メンテナンス期間に関しては、**バイクのケア**の項を参照にしましょう。

## 慎重に扱う

パーツの中には、誤って扱うと怪我をしてしまうものがあります。例えば、チェーンリングの歯やペダルなどは、鋭く尖っています。ブレーキ類のパーツは、高温になります。回転するホイールは、皮膚を切り裂き、骨折させる恐れがあります。クランプやブレーキレバーなどの回転運動するパーツや、スプロケット上を動くチェーンは、体の部位を挟む恐れがあります。

e-bikeのコンポーネントは、特に壊れやすいです。電気ケーブル、コネクタ、バッテリードック、バッテリー、コントロールローラーは、誤って扱うと簡単に損傷してしまいます。

## 安全を第一に考えよう

周囲の状況を把握し、交通、障害物、ドロップオフなど一目でわかる危険な状況を避けるようにしましょう。しかし、状況に気づきにくい時もあります。そのような状況の多くは、このマニュアルに記載されています。

雑誌やビデオで見られるリスクの高いスタント走行やジャンプは、非常に危険です。技術のあるアスリートでさえ、転倒すれば重大な怪我を負います（彼らも実際に転倒します）。

バイクを改造すると、安全でなくなる恐れがあります。新しいバイクの各パーツは、慎重に選ばれ、承認を受けていま

す。アクセサリや交換用パーツの安全性は、特にそれらをどう装着し、他のパーツとどう関わり合うかによって、確保されない場合もあります。そのため、最初から付いていたパーツと同じ交換品や、承認を受けたパーツだけを交換しましょう。何のパーツが承認を受けているかわからない場合は、ストアに尋ねましょう。

次に、改造例の一部を示します:

- 既存のパーツの構造変更（研磨、詰め物、穴あけなど）
- リフレクターや二次的な保持装置などの安全機器の取り外し
- ブレーキシステムへのアダプターの使用
- モーターやエンジンの追加
- アクセサリの追加
- パーツの変更

## e-bikeに関する重要な情報

新しいe-bikeに乗る前に、このマニュアル、e-bikeのクイックスタートガイド、補足のe-bikeオーナーズマニュアルをしっかりと読むことが大切です。

- どちらのマニュアルにも、e-bikeについての役立つ情報が記載されています。
- トレックは環境保護の取り組みをしているため、電子コンポーネントを正しく使用し、メンテナンスし、廃棄する必要があります。

e-bikeの操作の項に加え、補足の**初めて乗る前に**の項も読んでおくことが大切です。

**▲注意!** 電動自転車のドライブシステムを不正に変更（改ざん）することは禁止されています。電動自転車が改ざんされている疑いがある場合、またはドライブアシスタンスが停止する速度に変化が生じた場合は、乗車を中止し、Electraの正規販売店にサポートを依頼してください。

## バイクショップと良好な関係を築くために

トラブルと無縁にサイクリングを長く楽しむためには、お気に入りの販売店と良好な関係を築くことが一番です。

### 最高の情報源

このマニュアルには、あなたのバイクについての有益な情報が数多く記載されています。そしてさらなる情報が、electrabike.comの**サポートページ**にもあります。

しかし、マニュアルやウェブサイトはパンクを直したり、ディレイラーを調整したり、サドル高を適切な高さに修正したり、あなたにコーヒーを注いだりなどできません。

最寄りのストアこそ、サイクリングの中心となる場所なのです。ストアが提供するものの一例を示します：

### 知識に長けたスタッフ

ストアにいるのはただの販売員ではありません。彼らは、販売する製品を使い、理解しているライダーです。

### 最高のフィット

ストアは、あなたの体、走り方、好みに合わせてバイクをセットアップしたり調整できます。

### プロのメカニック

ストアのサービススタッフが、あなたのバイクやe-bikeを何シーズンにも渡り、最高のコンディションに保ちます。

### 保証サービス

私たちが販売する製品に問題があれば、ストアがその問題に適切に対処します。

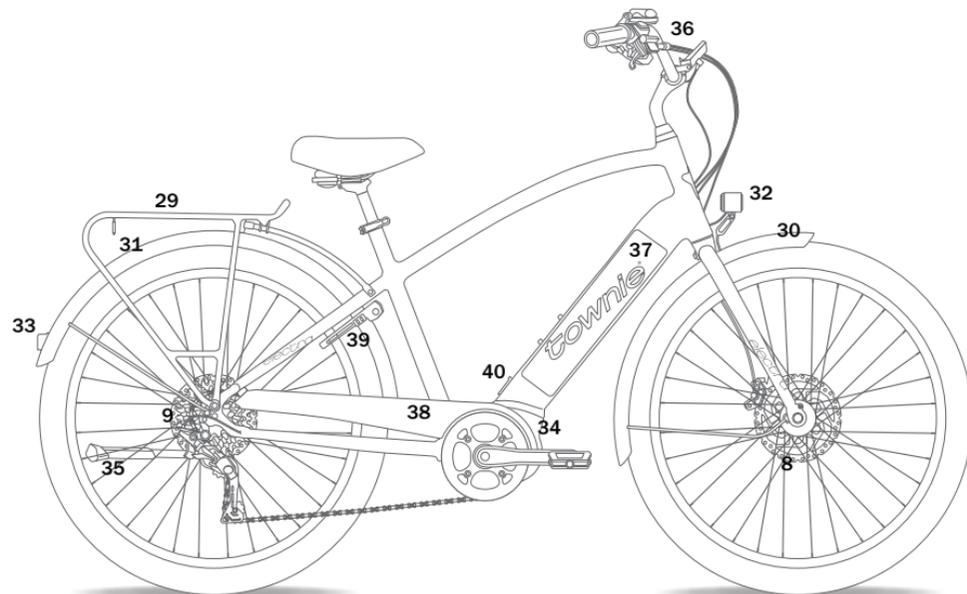
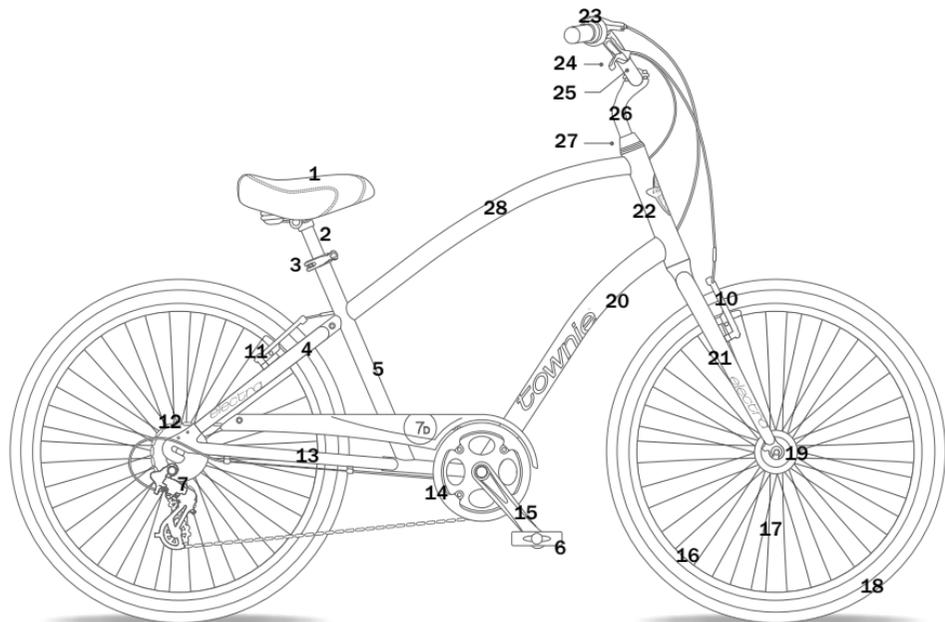
## 全てのライダーのために ショップがある

トレックは、アメリカ国内だけで2000以上、世界各地で数百ものストアと提携しています。高性能のバイクを専門に取り扱う販売店もありますが、Electraの販売店は、全ての方にあるものを提供します。それは、バイクに乗って、走りを楽しむ方法です。

お気に入りのショップがまだないのなら、electrabike.comの**販売店検索**を利用しましょう。

# バイクに使用されるパーツ

この図には、基本的なバイクパーツが記載されています。あなたのバイクに図中のパーツがない場合もあります。詳しくは、[electrabike.com](http://electrabike.com)のサポートページをご覧ください。



- |              |                |            |            |
|--------------|----------------|------------|------------|
| 1 サドル        | 8 フロントディスクブレーキ | 15 クランクアーム | 22 ヘッドチューブ |
| 2 シートポスト     | 9 リアディスクブレーキ   | 16 リム      | 23 シフター    |
| 3 シートポストクランプ | 10 フロントリムブレーキ  | 17 スポーク    | 24 ブレーキレバー |
| 4 シートステー     | 11 リアリムブレーキ    | 18 タイヤ     | 25 ハンドルバー  |
| 5 シートチューブ    | 12 カセット        | 19 ハブ      | 26 ステム     |
| 6 ペダル        | 13 チェーンステー     | 20 ダウンチューブ | 27 ヘッドセット  |
| 7 リアディレイラー   | 14 チェーンリング     | 21 フォーク    | 28 トップチューブ |

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 29 ラック       | 36 コントロールユニット |
| 30 フロントフェンダー | 37 バッテリー      |
| 31 リアフェンダー   | 38 チェーンガード    |
| 32 フロントライト   | 39 リングロック     |
| 33 リアライト     | 40 充電ポート      |
| 34 モーター      |               |
| 35 キックスタンド   |               |

## 初めて乗る前に

初めてお乗りになる前に、バイクを調整し、乗れるよう準備することはとても大切です。

### 適切なサイズのバイクに乗ろう

Electraのほぼ全てのモデルは、特許取得済みのFlat Foot Technology® フレームジオメトリーを採用します。ワンサイズでほぼ全ての方にフィットしますが、ストアならあなたに最もフィットするElectraバイクを見つけられます。

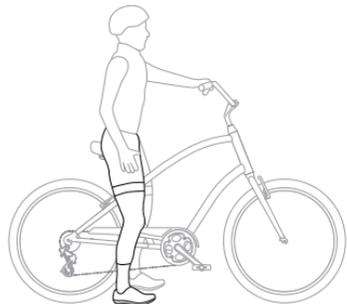


図 1.1: ライドハイトを正しく調整しましょう。

サドルを上下させ、足の裏が地面にかろうじて着き、サドルに全体重をかけられる高さに調整しましょう。膝を曲げずに脚をまっすぐに伸ばしてください(図 1.1)。ほとんどの場合、こうすることで走行中に脚を正しく伸ばすことができます。脚をさらに伸ばしたい場合は、サドルを少し上げましょう。

### 重量制限内で乗ろう

バイクには重量制限があります。一般的な重量制限について詳しくは、**使用条件**の項をご覧ください。



図 1.2: シートポストの最低ライン

シートポストやフレームが損傷しないよう、シートポストやシートマストは最低挿入ライン(図 1.2)よりも突き出ないようにしましょう。サドルを適切な高さで調整できない場合、ストアに尋ねましょう。

### ハンドルバーとステムを快適な高さになるまで調整しよう

ハンドルバーの位置は、操作と快適さに重要です。ハンドルバーの向いた方向に、バイクが走ります。

ステムの位置決め、調整、適正トルクでの締め付けには専用工具と知識が必要なので、ストアにこれらの作業を頼みましょう。これらの作業を行うと、

シフター、ブレーキレバー、ケーブルの調整も必要となるため、あなた自身で行わないようにしてください。

**⚠ 警告:** ヘッドセットとステムを不適切に組み付け、またそれらを不適切なトルクで締め付けると、フォークのステアリングコラムが損傷し、破損する恐れがあります。ステアリングコラムが破損すると、あなたが転倒する恐れがあります。

### バイクに詳しくなるよう

あなたのバイクを存分に楽しむため、次の事柄に詳しくなりましょう:

- ペダル
- ブレーキ (レバーまたはペダル)
- シフター (搭載されている場合)

快適に安心して走れるようになると、もっと楽しめます。

## 乗る前に必ずすること

バイクに乗る前に、車が通らない平坦な場所で安全点検を行いましょう。安全点検をクリアしないパーツがあれば、乗る前に修理するか、メンテナンスを受けてください。

### 走行前の点検リスト

#### ハンドルバーの点検

- ハンドルバーがホイールに対して90度である(図 1.3)。
- ハンドルバーが確実に締め付けられ、ひねっても位置がずれず、ステムの中で回らない。
- ハンドルバーを左右に切った時に、ケーブルが引っ張られたり挟まれない。

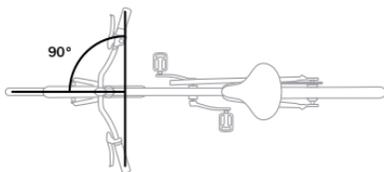


図 1.3: ハンドルバーとサドルの正しい向き。

#### サドルとシートポストの点検

- サドルがバイクの中心と同一線上にある(図 1.3)。
- サドルレールまたはカラーが確実に締め付けられ、ひねっても向きや上下の位置がずれない。

**警告:** クイックリリースレバーを正しく調整しない、あるいは固定しないと、それが勝手に動いてスポークやブレーキローターと絡まる恐れがあります。また、ホイールが緩んだり、いきなり外れたりすることもあります。そうなると、操作不能に陥って点灯し、重大な怪我や死亡事故に繋がります。ライドの前は必ず、クイックリリースを正しく調整し、固定しましょう。

#### ホイールの点検

- リムとスポークが損傷していないホイールを回すと、フォーク(フロント)とチェーンステー(リア)の間で真っ直ぐに回り、ブレーキパッド(リムブレーキの場合)に触れていない。
- アクスルがドロップアウトに完全に接している。
- バイクを持ち上げ、タイヤ上部を強く叩いても、ホイールが外れたり、緩んだり、横方向に動かない。

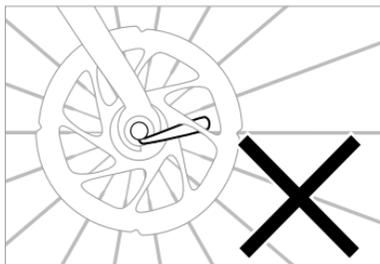


図 1.4: クイックリリースレバーを不適切な向きで締め込むと、ブレーキシステムと干渉する恐れがあります。

お使いのホイールがクイックリリース アクスルを使用する場合、レバーが正しい位置(フロントフォークや、ラック、フェ

ンダー、バッグなどのアクセサリーと触れていない位置)で締め込まれており、ホイールを回してもスポークやディスクブレーキシステムと干渉しない(図 1.4)。

**警告:** クイックリリースでホイールを締め付けるには、かなりの力が必要です。ホイールが正しく固定されていないと、ホイールが緩んだり外れ、重大な怪我を負う恐れがあります。

クイックリリースレバーを閉じる力が、手のひらにその跡を残す程度となるよう調整用ナットを締め込みます。レバーがフォークやアクセサリーと接触して正しく閉じない場合、向きを変えてから閉じます。

レバーが何かと接触していると、正しく閉じないことがあります。調整しても正しく閉じない場合、クイックリリースのアクスルを取り外し、レバーを反対側にして取り付けます。これで調整しても正しく閉じない場合は、クイックリリースを交換してください。

#### タイヤの点検

- ゲージ付きのタイヤポンプを使い、推奨空気圧の範囲内まで充填してある。タイヤまたはリムの側面に記載された推奨空気圧の範囲のうち、どちらか低い方の最大空気圧を超えないこと。

**注:** ガソリンスタンドのポンプや電動コンプレッサーではなく、ハンドポンプやフットポンプを使いましょう。前者を使うと、タイヤに空気が入り過ぎやすく、タイヤが破裂する恐れがあります。

## ブレーキの点検

• バイクを立てて静止させた状態でブレーキレバーを目一杯握り込んでも、ハンドルバーに触れない。(レバーがハンドルバーに触れてしまう場合は、ブレーキの調整が必要です。)

• フロントブレーキが正しく作動する。バイクを低速で走らせ、フロントブレーキをかけると、即座に停止するはずである。



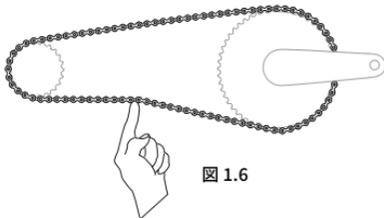
図 1.5: 前後のブレーキを同時にかけましょう。フロントブレーキのみをかけた場合、バイクの前方へ投げ出される恐れがあります。

**警告:** フロントブレーキを急に、または力強くかけると、リアホイールが地面から完全に浮き上がります。これにより操作不能に陥り、転倒する恐れがあります。そうならないためにも、ブレーキは前後同時にかけましょう。(図 1.5)

• リムまたはディスクブレーキの場合、同様の手順をリアブレーキでも行う。

• コースターブレーキの場合、後ろ側のペダルのクランクを水平よりやや高くする。後ろ側のペダルを下向きに踏み込む。ペダルを下向きに動かすと、ブレーキが作動するはずである。

## チェーンの点検



• チェーンまたはベルトに適切な張力がかかっており、外れない。張力が適切かどうか分からない場合は、ストアに尋ねること。

• チェーンのピン、プレート、ローラーに曲がり、錆び、損傷がない。

• コースターブレーキの場合: チェーン中央部(図 1.6)が垂直方向に6〜12mm (0.25〜0.50インチ) たるむ。

## ケーブルの点検

• 全てのインナーケーブルおよびアウトナーケーブルはフレームとフォークに正しく固定され、可動パーツと接触したり挟まれない。

## リフレクター、ライトアクセサリーの点検

• リフレクターが汚れておらず、ホイールの正しい位置に取り付けられていることを確認しましょう。

• 前後のライトとその他のアクセサリーは、正しい位置に取り付けられ、正しく作動する。

• ライトの向きを確認する。バッテリーは完全に充電されている。

## e-bikeのバッテリーとコントローラーの点検

• e-bikeの場合、バッテリーはドックに固定され、完全に充電されている。コントローラーとe-bikeのシステムは正しく機能する。

## ペダルの点検

• ペダルとシューズはきれいで、グリップを低下させたりシステムの妨げとなるものが詰まっていない。

ペダルとクランクアームを掴んで左右に振ってもガタを感じられない。ペダルを回すとスムーズに回る。

## ロック式ヘッドセットの点検(該当する場合)

• ライドの前に必ずヘッドセットのロックを解除する。

**警告:** ヘッドセットがロックされたままだと、ハンドルバーの可動範囲が制限されます。これにより、操作不能に陥り、怪我や死亡につながる恐れがあります。ライドの前には必ずヘッドセットのロックを解除し、バイクを正常に操作できるようにしましょう。



図 1.7

## 安全のために

次の基本的な安全策を実施し、走行中に怪我をするリスクを減らしましょう。

### 適切なギアを身につけよう

• バイクに乗る時は必ずヘルメットを被り、転倒時に頭を怪我するリスクを減らしましょう。正しくフィットし、必要な安全規格をクリアしたヘルメットを使いましょう。

• 適切なウェアを着ましょう。大きめのウェアや垂れ下がったアクセサリは、ホイールなどの動くパーツに巻き込まれ、転倒する恐れがあります（例：パンツの裾がチェーンリングに巻き込まれる）。

• 固定されていないストラップやアクセサリを全て固定しましょう（バイクパッキングのハーネス、パニアなど）。

• 日中は蛍光色のウェアを、夜間は反射素材のウェアを着て、被視認性を高めましょう。ペダリング特有の上下の動きから、あなたが人間であると周囲は認識します。夜間は、反射素材を採用した製品を足先、足首、脚に着用し、目立たせましょう。日中は、蛍光カラーのソックス、シューズ、カバー、ウォーマーを着用しましょう。

• 昼夜問わず、前後のライトを点灯しましょう。リフレクターをきれいにし、正しい位置に取り付けてください。

**⚠ 警告:** リフレクターは、光が当たった時のみ反射し、これはライトの代わりにはなりません。適切なライトを使わずに暗い環境や視認性の低い時間帯を走るとは、非常に危険です。

### 賢く走ろう

自分自身の技量を知り、それを超えて走らないようにしましょう。

• 気を取られながら走らないでください。携帯電話や音楽プレイヤーなどのデバイスを走行中に使うことで、事故に巻き込まれる恐れがあります。

• スピードを出し過ぎないでください。スピードを出すとリスクが高まり、転倒時により大きな衝撃を受けることとなります。e-bikeのパワーに驚かされるかもしれません。

• 手放し運転はしないでください。いつでも少なくとも片手はハンドルバーに置いておきましょう。

• タンデムバイク以外で2人乗りはしないでください。

• 酔っ払っていたり、眠気や集中力の低下を引き起こす薬物を使用した状態で走らないでください。

• 大人数のグループで走らないでください。他のライダーと寄り添って走ると、道路が見えにくくなり、バイクの操作不能に陥る恐れがあります。また、大人数で走ると、他の道路利用者の迷惑となる恐れがあります。

• お持ちのバイクの種類にそぐわない方法で走らないでください（詳しくは**使用条件**の項をお読みください）。

**e-bike の注意:** 他の利用者は、e-bikeが普通のバイクより速く走れると思っていないことを知しましょう。速く走ると、事故に遭うリスクも高まります。

**⚠ 警告:** バイクに不適切な方法で乗ると、怪我のリスクが高まります。誤用はバイクに負荷をかけることもあります。高い負荷がかかるとフレームやパーツが破壊し、あなたが怪我をするリスクを高めます。怪我のリスクを下げるには、お持ちのバイクを設計通りの用途で乗りましょう。

## 誤用を避けよう

ジャンプする、木の枝や岩などの障害物の上を走る、スタント走行をする、過酷なオフロードを走る、環境に適さない速さで走る、普通ではない方法で走行することが、誤用の例です。これらやその他の誤用により、バイクの各パーツに負荷がかかります。

## 危険な要因を避けよう

自動車、歩行者、あなた以外のサイクリストに気をつけましょう。あなたの進路で自動車のドアを急に開けるなど、他の道路利用者はあなたが見えていないと想定して、いつでも避けられるよう備えましょう。

オフロードは慎重に走りましょう。トレイルの上だけを走りましょう。岩、木の枝、くぼみの上は走らないでください。

固定されていないものやペットのリードを、ハンドルバーなどのパーツに取り付けて走らないでください。

くぼみ、側溝、ぬかるんでいたり低い路肩、その他ホイールに衝撃を与え、ホイールを滑らせたりロックさせ、あるいは轍に落として走行不能に陥らせる可能性のある障害物など、路上の危険物に注意して走りましょう。路面環境が不確かな場合は、バイクを降りて押ししましょう。

線路や側溝を越える時は、溝にホイールがはまらないよう、それらに気をつけながら90度で進入しましょう(図1.8)。

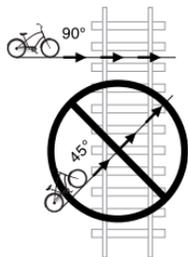


図 1.8 線路を渡る場合。

## 天候に配慮しよう

雨や雪の中を走る時は、タイヤのグリップが大幅に下がるため、普段よりも用心しましょう。

路面が濡れていると、制動距離は伸びます。路面がドライの時よりもブレーキを早めにかけて、より慎重に走りましょう。

## バイクの音を聞こう

バイクが異常な動き(振動やぐらつきなど)を示したり、異音が聞こえる場合は、ただちに走行を止め、問題を特定してください。

転倒や衝撃を受けた後は、ストアで入念に点検してもらってください。バイクの損傷は、目に見えないこともあります。再び乗る前に全ての問題を直すか、ストアへ持って行ってメンテナンスをしてもらいましょう。

## 前もって計画しよう

ライド中にパンクやメカトラブルが起こると、楽しいはずのものも楽しめません。ポンプ、予備チューブ、パッチキット、ツール、予備バッテリー、ライトやバッテリー用充電器を持ち運びましょう。バイクをいつでも修理できるよう備え、ライドから無事に帰宅しましょう。

## 舗装路とオフロードのルールに従おう

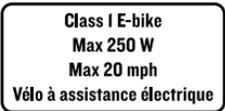
走る場所の法律に従うのは、あなたの義務です。e-bike、バイクライト、道路やサイクリングロードでの走行、ヘルメット、キッズキャリア、通行に関する全ての法律や規則に従いましょう。

# 使用条件および重量制限

お持ちのバイクのフレームには、その使用条件を示すステッカーが貼られています。お持ちのバイクの種類に沿った使用条件で走行してください。

## フレームステッカー

フレームに、使用条件のステッカーおよびまたは以下の電動アシストバイク (EPAC) のステッカーが貼られていることを確認しましょう。

EU EPAC ISO ラベル、CEに限定されたモデル	US EPAC ISO ラベル、クラスラベル
	
	

**警告:** バイクに本来の使用条件より大きな負荷がかかると、バイク本体またはパーツが損傷したり破壊する恐れがあります。損傷したバイクは操作性が下がり、転倒する恐れがあります。お持ちのバイクの負荷限度よりも大きな負荷がかかる使用条件で乗らないでください。お持ちのバイクの負荷限度がわからない場合は、ストアへ問い合わせください。

重量制限 = ライダー + バイク + ギア/荷物

路面状況	路面	重量制限	バイクの種類や定義
<b>子供用バイク</b> 	子供による走行。子供は保護者の監督なしで走行するべきではありません。子供はスロープ、縁石、階段、段差、プール、または自動車を通る場所を走行するべきではありません。	36kg (80lb)	最大サドル高は635mm 12、16、20インチホイールのバイク、子供用三輪車、トレーラーバイクが該当 ホイール着脱にはクイックリリースを不採用
<b>条件 1</b> 	タイヤが常に路面と接する舗装路での走行。	125kg (275lb)	ドロップバーを備えたロードバイク トライアスロン、タイムトライアル、スピードバイク 大きな26インチタイヤと後方に湾曲したハンドルバーを備えたクルーザー ドロップバーを備えた電動ロードバイク
		136kg (300lb)	標準的なペダル式電動アシストバイク (e-bike)
		250kg (550lb)	タンDEM
<b>条件 2</b> 	条件 1に加え、勾配の緩い滑らかな砂利道や整備されたトレイルでの走行。 6インチ (15cm) 以下のドロップオフ。	80kg (175lb)	24インチホイールを備えたマウンテンバイクやクロスバイク
		125kg (275lb)	ドロップバー、ノブ付きの700c タイヤ、カンチまたはディスクブレーキを備えたシクロクロスバイク
		136kg (300lb)	700c ホイール、28cよりも太いタイヤ、フラットバーを備えたクロスバイクまたは DuoSport
			標準的なペダル式電動アシストバイク

## 基本的な走行テクニック

次のアドバイスやテクニックを用いて、走りを楽しみましょう。

### ターンとハンドル操作

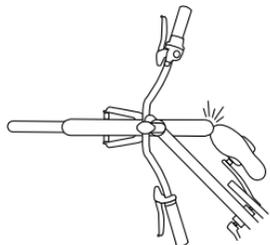


図 1.9: つま先の接触。

つま先の接触に注意しましょう。低速での走行時にハンドルバーを切ると、つま先がフロントホイールやフェンダーと重なったり接触する恐れがあります。低速で走る時にハンドルバーを切る場合は、ペダルを漕がないようにしましょう。

路面が濡れていたり、障害物が散乱していたり、不均一な舗装路は、バイクのハンドル操作に影響を及ぼします。路面の塗装（横断歩道や走行帯）や金属面（側溝やマンホールの蓋）は、水で濡れると特に滑りやすくなります。走行に適さない路面での急な進路変更は避けましょう。

### ブレーキング

常にあなたと自動車などの障害物との距離を十分に保ち、安全に停止できるようにしましょう。距離とブレーキをかける力を調整して、走行環境や速度に合わせましょう。

安全にブレーキングするには、ブレーキを滑らかかつ均一に使いましょう。前を見て、速度を調整し、急ブレーキを避けましょう。

バイクによって使うブレーキシステムは異なり、使用環境によって制動力は異なります（**使用条件および重量制限**の項をお読みください）。お持ちのバイクの制動力を知り、それを超えた走行はやめましょう。制動力をさらに高めたい、あるいは下げたい場合は、ストアへ問い合わせください。

路面が濡れていたり、障害物が散乱していたり、不均一な舗装路は、ブレーキをかけた時のバイクの反応に影響を及ぼします。走行に適さない路面状況でのブレーキングには、特に注意しましょう。滑らかに操作し、停止するまでにより多くの時間と距離が必要なことをおきましょう。

### コースターブレーキ

保護者は、この項目をお子さんに説明してください。

お持ちのバイクにコースターブレーキ（ペダルで作動させるブレーキ）が搭載されている場合、ペダルを逆回転させるとブレーキがかかります。



図 1.10

制動力を最大限高めるためには、ブレーキをかける前にクランクアームを水平に保ってください。クランクはブレーキがかかるまでにわずかに回転するため、後側のペダルを水平よりもやや高くしてブレーキをかけ始めましょう(図 1.10)。

## ハンドブレーキ

走行前に、どちらのブレーキレバーでフロントブレーキとリアブレーキを操作するのかを確認しましょう。

ハンドブレーキが2つある場合は、両方のブレーキを同時にかけましょう。

フロントブレーキはリアブレーキに比べ、より強い制動力を発揮するため、力強くまたは急にかけないようにしましょう。希望する速度になるか停止するまで、両方のブレーキを徐々にかけましょう。

急停止しなければならない場合、ブレーキをかけながら体重を後方へ移動させ、リアホイールが地面から浮かないようにしてください。

**警告:** フロントブレーキを急に、または力強くかけると、リアホイールが地面から完全に浮き上がり、あるいはフロントホイールが滑ります。これにより操作不能に陥り、転倒する恐れがあります。

フロントブレーキには、ブレーキをより緩やかにかかるようにさせる「モジュレーター」と呼ばれる装置を搭載するものもあります。

## ギアの変速

バイクに搭載されるギアにより、坂を登り、向かい風の中を進み、平坦路を速く走るなど、さまざまな環境で快適にペダルを漕げるようになります。環境に最も適したギアを選びましょう。これはすなわち、一定のペースでペダルを漕げるギアのことです。

一般的なバイクには、外部に装着されたディレイラーと、内装ギアハブ(IGH)の2種類の変装システムが備わっています。お持ちのバイクの仕様に合わせたテクニックを用いましょう。

シフターとディレイラーにより、機能は異なります。お使いのシステムを知りましょう。

## ディレイラーでの変速

**警告:** 誤ったディレイラーの変速テクニックにより、チェーンが詰まったり外れ、操作不能に陥って転倒する恐れがあります。

ディレイラーは、チェーンをあるギアから隣のギアに移動させます。ディレイラーを操作するシフターの位置を変えることで、ギアが変速します。

ペダルとチェーンが前方に動いている時のみ、ギアを変速しましょう。

変速時は、ペダルにかける力を抜きます。こうすることでチェーンにかかる張力が減り、チェーンがギアの上を素早く滑らかに移動でき、チェーン、ディレイラー、ギアが磨耗しにくくなります。

チェーンが外れたり詰まったり、あるいは変速ミスが起こらないよう、障害物を乗り越える際は変速しないでください。

## 内装ギアハブ(IGH)での変速

**e-bike以外:** 変速時は、ペダルを漕がないでください。チェーンに張力がかかると、変速機構が正しく動かず、また損傷する恐れがあります。

**e-bike:** IGH システムでは、ペダルを漕がないときも漕いでいるときも変速できます。

通常の内装ギアハブの場合、バイクが停止中でも変速できます。したがって、道路標識や信号で停止中に軽いギアに変速し、漕ぎ出しを簡単にすることができます。

## ペダリング

ペダルシステムは複数存在しますが、Electraのバイクには全て、フラットペダルが付属します。

## お子さんと乗る場合

お子さんを最も安全に、かつ最も楽しめるよう、次の安全策を講じてください。

### お子さんをバイクに乗せて引っ張る、あるいは運ぶ場合

**▲ 警告:** チャイルドシートをバイクに取り付けると、重量が増え、重心位置が上がります。これにより、停止するまでの時間が伸び、操作が難しくなり、倒れやすくなる恐れがあります。お子さまをチャイルドシートに載せたまま、その場を離れないでください。チャイルドシートを取り付けた状態でのバランス、ブレーキング、コーナリングに、特に注意してください。転倒や操作不能状態により、あなたやお子さまに重大な怪我または死亡事故が生じる恐れがあります。

**▲ 警告:** バイクラックの中には、チャイルドシートとしての使用を想定していないものもあります。ご不明な点がありましたら、Electra販売店にお尋ねください。

**▲ 警告:** サードパーティのチャイルドシートブランドが採用する取付システムは、特定のバイクラックと互換しない場合があります。ご不明な点は、チャイルドシートの販売元にお尋ねください。

**▲ 警告:** チャイルドシートを互換しないラックに取り付けると、固定が緩み、または不意に外れて、お子さまが自転車と接触または落下し、重大な怪我や死亡事故が生じる恐れがあります。

- お子さんをキャリアかバイクに取り付けたトレーラーに乗せる場合、お子さんの安全を守るためにも常に注意してください。お持ちのバイクがキッズキャリアやトレーラーの取り付けに適していることを確認しましょう。トレーラーと一緒に、付属の旗を使用してください。
- 乗る前に取付部を点検しましょう。
- キャリア(ラック)は荷物を載せる運ぶために設計されており、認可されたチャイルドキャリアを使用しない限り、人は乗れません。

• 視界やバイクの操作を妨げたり、バイクの可動部と絡まる恐れのあるものは絶対に載せないでください。

• キッズキャリアをリアラックに取り付ける場合は、お乗りのバイクの最大積載量に注意しましょう。リアラックにバッテリーを搭載するe-bikeの場合、最大積載量はバッテリーの重さもあるため低めです。最大積載量は、ラックやラックを支えるブラケットに記載されています。リアラックに負荷がかからないようにするため、キッズキャリアは通常、シートチューブへの取り付けが推奨されています。

• キッズキャリアをバイク後部に取り付ける場合、サドルの(Spring)が露出していると、お子さんが指を怪我する恐れがあります。Springを何かで覆うか、Springのないサドルを使いましょう。

• キッズキャリアやトレーラーにお子さんを乗せたまま、その場を絶対に離れないでください。バイクが倒れると、お子さんが怪我をする恐れがあります。

• 特に正しくフィットする認可済みのヘルメットなどのプロテクターを、お子さんの身に付けてください。

• トレーラー(ペダル付き)に乗っているお子さんが起きていて気を抜いていないことを、頻繁に確認してください。

• 速度を落として走りましょう。キャリアに付属する取扱説明書を読み、従いましょう。

### お子さんが自身で乗る場合

• お子さんに明るくて視認しやすいウェアを着させましょう。

• お子さんを体に合ったサイズのバイクに乗らせ、サドルとハンドルバーを最も快適に操作できる位置に調整しましょう。

• 子供は大人より危険というものを理解しておらず、緊急事態に正しく対処できない場合があるため、あなたの目と耳と判断力で周囲を確認し、お子さんが安全に走行できるようにしてください。

• 子供はスロープ、縁石、階段、段差、プール、または自動車を通る場所を走行するべきではありません。

• お子さんに道路の規則を教え、それに従うことの大切さを強調してください。

• お住いの地域や時間帯、お子さんが走れる距離などに適したあなた独自のルールを設けましょう。

**⚠ 警告:** 補助輪は、ターン中にバイクが傾かないようにします。お子さんが急に曲がると、バイクが倒れて怪我をする恐れがあります。補助輪を使う場合、お子さんに速く走ったり急に曲がらないよう指導しましょう。

• 乗る前に必ず、お子さんのバイクを点検しましょう（**乗る前に必ずすること**をお読みください）。

• お子さんのバイクのグリップやバーエンドプラグには特に注意してください。ハンドルバーの端部が覆われていないと、転倒した際に体に突き刺さる恐れがあります。

**⚠ 警告:** ハンドルバーの端部が塞がれていない、または覆われていないと、転倒時に怪我や死亡事故に繋がる恐れがあります。保護者はお子さんのバイクを定期的に点検し、損傷したり紛失したグリップやバーエンドプラグを交換してください。



# バイクのケア

- 35 バイクを安全に守ろう
- 39 メンテナンス
- 40 検査
- 45 知っておくべき5つの簡単なメンテナンス方法

## バイクを安全に守ろう

オーナーのお時間を少しもらうことで、トレックのバイクはいつまでも長持ちします。次の保護手段に従い、お持ちのバイクをいつまでも良い状態に保ちましょう。

### 見た目もすっきりと

バイクがとても汚れている場合、水または中性洗剤、そして研磨剤を含まないスポンジで掃除しましょう。高圧洗車機でバイクに水を吹きかけないでください。また、ベアリングやe-bikeの電子パーツに水を直接かけないでください。強力な溶剤やアルコールでバイクを掃除しないでください。バイクの洗い方について詳しくは、**5つの簡単なメンテナンス方法**の項をお読みください。

純正の交換パーツのみを使用してください。純正以外の交換パーツを使用すると、安全性、性能、バイクの保証が得られなくなる場合があります。

### バイクメンテナンスに関する警告

バイクのメンテナンスには、専門ツールと知識が必要です。このマニュアルに記載されていない修理や調整は、あなたの安全を考慮して、ストアに頼みましょう。

### パーツの交換

バイクのパーツ（例えば磨耗したブレーキパッドや転倒で壊れたパーツ）を交換する必要がある場合、ストアを訪ねるか、[electrabike.com](http://electrabike.com)をご覧ください。

## 持っておくと便利なツール

これら全てのツールがどのバイクにも必要であるとは限りません。

- 2、4、5、6、8mmの六角レンチ
- 9、10、15、18mmのスパナ
- 15mm、18mmのメガネレンチ
- ソケットレンチ、14、15、19mm ソケット
- T25 Torx レンチ
- No. 1のプラスドライバー
- チューブに貼るパッチキット、ゲージ付きポンプ、タイヤレバー
- トルクレンチ

**警告:** バイクのメンテナンスと修理作業の多くは、専門知識と専用工具が必要です。ストアで正しい作業方法を教わるまで、ご自身の調整やメンテナンスを行わないでください。重要な機械パーツの修理は、資格を持つバイクメカニックだけが行うべきであると、トレックは考えます。誤った調整やメンテナンスにより、バイクが損傷したり、重大な怪我や死亡が生じる事故が起こる恐れがあります。

あなたの安全は、バイクの適切なメンテナンスによって決まります。このマニュアルに記載されていない修理、調整、ソフトウェアのアップデートは、ストアに頼みましょう。

修理やアクセサリーの取り付け後は、**乗る前に必ずすること**の項に記載された通りにバイクを点検してください。

## バイクの駐輪、保管、輸送 盗難を防ごう

ボルトカッターやノコギリに耐えられるバイクロックをバイクと地面に固定されたものに必ず通してロックしましょう。e-bikeの場合、必要に応じてバッテリーを固定し、コントローラーを取り外しましょう。

お持ちのバイクをオンラインで登録しましょう (**バイクの登録**の項を参照)。このマニュアルにシリアル番号を記録し、安全な場所で保管してください。

## バイクの安全な駐輪と保管

倒れたり転がったりしない場所に、バイクを駐輪しましょう。バイクが倒れると、バイク自体やあなたの所有物が損傷する恐れがあります。

駐輪用ラックを誤って使用すると、ホイールが曲がり、ブレーキケーブルが損傷し、またe-bikeの場合は電子システムのケーブルが損傷する恐れがあります。

ディレイラーを下にしてバイクを寝かさなでください。リアディレイラーが曲がり、ドライブトレインに土が入り込む恐れがあります。

できる限り、バイクを悪天候から守りましょう。雨、雪、ヒョウ、直射日光により、バイクのフレーム、仕上げ、パーツに悪影響が及ぶ恐れがあります。

バイクを長期保管する前に、掃除とメンテナンスを行い、フレームポリッシュを塗布してください。タイヤの空気圧を推奨値の半分に落とし、バイクを地面から離して吊り下げましょう。

適切なバッテリーの保管方法については、クイックスタートガイドや補足のe-bike オーナーズマニュアルをお読みください。

## バイクの仕上げを守ろう

お持ちのバイクの仕上げやペイントは、化学薬品（一部のスポーツドリンクを含む）や荒い表面により、損傷する恐れがあります。特にケーブルが擦れたり、フレームにストラップが巻いてある箇所など、土が擦り傷を作り、ペイントを剥がすことがあります。粘着性のパッドを使って、擦れが発生しやすい箇所を守りましょう。

## 過度の熱を避けよう

過度の高熱により、フレームパーツの接合部が損傷することがあります。お持ちのバイクを65°C (150°F) 以上の熱に晒さないでください。太陽の下で駐車した自動車の車内は、この温度に達することがあります。

## カーラック、作業スタンド、トレーラー、トレーナーを慎重に使う

作業スタンド、カーキャリア、トレーナー、キッズトレーラーなどに使われるクランプ機構は、バイクのフレームを損傷させる恐れがあります。お使いのアクセサリーに向けた指示に従い、バイクに悪影響が及ばないようにしましょう。全てのバイクが荷物キャリアやバイクトレーラーなどに適合しているわけではありません。よくわからない場合は、ストアへお問い合わせください。

**警告:** チャイルドシートをバイクに取り付けると、重量が増え、重心位置が上がります。これにより、停止するまでの時間が伸び、操作が難しくなり、倒れやすくなる恐れがあります。お子さまをチャイルドシートに載せたまま、その場を離れないでください。チャイルドシートを取り付けた状態でのバランス、ブレーキング、コーナリングに、特に注意してください。転倒や操作不能状態により、あなたやお子さまに重大な怪我または死亡事故が生じる恐れがあります。

**警告:** バイクラックの中には、チャイルドシートとしての使用を想定していないものもあります。ご不明な点がございましたら、Electra販売店にお尋ねください。

**警告:** サードパーティのチャイルドシートブランドが採用する取付システムは、特定のバイクラックと互換しない場合があります。ご不明な点は、チャイルドシートの販売元にお尋ねください。

**警告:** チャイルドシートを互換しないラックに取り付けると、固定が緩み、または不意に外れて、お子さまが自転車と接触または落下し、重大な怪我や死亡事故が生じる恐れがあります。

## バイクを輸送する際は、丁寧に梱包しよう

バイクの梱包が不適切だと、輸送中に簡単に損傷してしまいます。バイクを必ずハードケースやダンボール箱に入れて輸送しましょう。フレームチューブやフォークの全てにフォームパッドを取り付け、固いブロックをフォーク先端に挟んでフォークブレードの損傷を防いでください。

e-bikeの輸送には、特別な規則や考慮すべき事柄があります。ご不明な点がある場合は、[electrabike.com](http://electrabike.com)で補足のe-bike オーナーズマニュアルをご覧ください。



## メンテナンス

技術の進歩により、バイクやそのパーツはより複雑化し、革新的技術が生まれるペースは早まるばかり。全てのバイクを正しく修理およびまたはメンテナンスするのに必要なあらゆる情報を、このマニュアルに記載するのは不可能です。

事故や怪我の発生を最小限に抑えるべく、このマニュアルに記載されていない修理やメンテナンスはストアに頼むことが重要です。

あなたの走り方やお住いの地理的状況などの多くの要素から、メンテナンスの必要性は決まります。メンテナンスを行わない期間が長いほど、危険な状況がより増えます。ストアなら、お持ちのバイクにメンテナンスの必要性があるかどうかを判断できます。

新しいバイクは、初走行後に必ず点検しましょう。例えば、組み立て直後はケーブルは使用するにつれてなじむまで伸び、変速やブレーキ操作に影響を及ぼします。新しいバイクの購入後2ヶ月を目安に、ストアに各部の点検を頼みましょう。あまり乗っていないバイクも、ストアで毎年、各部の点検やメンテナンスを頼みましょう。

バイクに乗る前は必ず、**乗る前に必ずすること**の項に記載された点検を行ってください。

# 検査

点検とメンテナンスを、メンテナンススケジュールに記載された通りに行いましょう。

## 各部の緩みを点検しよう

新しいバイクは、ボルトや接続部がしっかりと締まった状態であなたの元へ届けられます。しかし、走るうちに緩んでくる場合があります。これは、異常ではありません。それらを点検し、規定トルク値で締め付けることが大切です。

## 各部のトルク値を知ろう

トルクとは、スクリューやボルトの締め付け具合を示す数値です。

トルクが多過ぎると、ボルト（あるいはその受け側）が伸び、変形し、また破損する恐れがあります。トルクが少な過ぎると、パーツが動き、ボルト（あるいはその受け側）の劣化や破損につながります。

適正な締め付け具合を測る唯一の方法が、トルクレンチの使用です。トルクレンチをお持ちでない場合、締め付け具合を正しく点検することはできず、ストアに尋ねると良いでしょう。

規定トルク値は、ボルトやパーツに記載されていることがほとんどです。パーツに規定トルク値が記載されていない場合、electrabike.comのサポートページをご覧ください。次の規定トルク値を確認し、必要に応じて調整するのに数分もかかりません：

- サドルのクランプボルト
- シートポストのクランプボルト
- ステムのボルト
- シフター取付ボルト
- ブレーキレバー取付ボルト
- 前後のブレーキボルト、アウターケーブル受けを固定するボルトを含む

## ハンドルバー

点検項目：

- ハンドルバーのグリップが固定されている（動いたり回らない）。
- ハンドルバーのエクステンションやバーエンドが正しい位置で固定され、パークヤップも固定されている。

**警告：** ハンドルバーの端部が塞がれていない、または覆われていないと、転倒時にライダーが怪我をする恐れがあります。保護者はお子さんのバイクを定期的に点検し、損傷したり紛失したグリップを交換してください。

## フレームとフォーク

リアの接合部やクランプおよび取付部を重点的に、フレームとフォークを点検しましょう。

凹み、ひび割れ、擦り傷、変形、変色、異音（チェーンのバタつき音や加速時のブレーキの擦れ）など、劣化の兆候を探しましょう。いずれかが見つかった場合、バイクに乗る前にストアに点検を頼みましょう。

## ブレーキ

ブレーキパッドの摩耗を確認しよう。

- リムブレーキ：ブレーキパッド表面の溝の深さが2mm未満（ダイレクトプル式ブレーキは1mm未満）の場合、ブレーキパッドを交換してください。
- ディスクブレーキ：ブレーキパッドの厚さが1mm未満の場合は交換してください。
- ディスクブレーキローター：ローターの厚さや磨耗状態を点検してください。最低厚さはディスクに印刷されています。

## ホイールとタイヤ

タイヤに損傷や擦り減っている箇所がないか、点検してください。タイヤが磨耗して薄くなると、パンクしやすくなります。切り傷がケーシングにまで達している、あるいはケーシングのスレッドがトレッドの中で見えている場合は、タイヤを交換してください。

ストアで緩んだスポークを直し、損傷したスポークを交換してもらってください。

リムの磨耗について。ブレーキパッドは、ブレーキをかけるたびにリムの素材を削り落とします。ブレーキがリムの素材を削り落とし過ぎると、リムの強度が下がり、破損する恐れがあります。アルミリムの磨耗インジケーター：

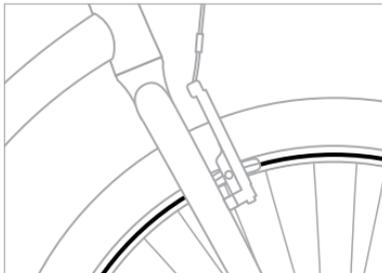


図 2.1 アルミリムの磨耗インジケーター

- リムの円周上に刻まれた浅い溝 (図 2.1)。この溝が見えない箇所がある場合は、リムを交換してください。

- リム上の点 - 通常はバルブシステム周辺にあります。この点が見えないなど磨耗している場合は、リムを交換してください。

ハブが緩んでいたり、ゴリゴリと異音がある場合は、ベアリングのメンテナンスが必要かもしれません。ベアリングの調整は、ストアに頼んでください。

## ディレイラー

ギアがあらゆる組み合わせとなるよう変速し、ディレイラーが正しく滑らかに動き、チェーンが外れないことを確認してください。

## ペダル

ペダルを揺り動かし、クランクアームにしっかり固定されていることを確認してください。クランクアーム上でペダルを回します。ペダルが滑らかに回らない場合は、ストアでペダルのベアリング調整を頼みましょう。

必要に応じて、ペダルを締め付けてください。右側のペダルは、通常の向きにねじ山が切られています。左側のペダルは、逆ねじが切られています。ストアでペダルを規定トルク値まで締め付けてもらいましょう。

## クランク

リアホイールを地面から浮かせた状態で、クランクアームを優しく揺り動かし、逆回転させましょう。

クランクを回すとガタや緩みがある、またはゴリゴリと異音がある場合は、バイクに乗らないでください。ボトムブラケット (クランクアームをフレーム内で回転させるベアリングシステム) の調整が必要かもしれません。

点検からバイクのメンテナンスが必要だと判明した場合は、[electrabike.com](http://electrabike.com)の**サポートページ**をご覧ください。ストアで修理を頼んでください。ベアリングの調整は、ストアに頼んでください。

## チェーン

チェーンに動きにくいリンクピン、磨耗、汚れがないか確認してください。チェーンを掃除し、注油しましょう (**5つの簡単なメンテナンス**を参照)。

## アクセサリー

全てのアクセサリーが正しく確実に取り付けられていることを確認してください。

バイクによってはキックスタンドなどのアクセサリーを備え、またあなた自身でパーツを取り付けることもあります。取り扱い方やメンテナンスに関するさらなる指示を[rekbikes.com](http://rekbikes.com)の**サポートページ**をご覧ください。アクセサリーに付属する取扱説明書に従ってください。

## ケーブル

ケーブルに、曲がり、錆び、切れ、ほつれがないか点検してください。ケーブルの端部には、ほつれを防ぐためにキャップが取り付けられているはずです。また、アウターケーブルにワイヤの緩み、曲がった端部、切れ、磨耗がないかも点検してください。ケーブルまたはアウターケーブルに異常がある場合は、バイクに乗らないでください。ご自分でワイヤー調整に慣れていない場合は、ストアで調整を頼みましょう。

## e-bike

全てのワイヤーとコネクタが損傷していないか点検してください。システムが正しく作動するか点検してください。コントローラーのドックが損傷していないか点検してください。全てのライトとホーン（搭載する場合）が正しく作動するか点検してください。

## フェンダー

フロントフェンダーを取り付ける際は、上側の取付ボルトのネジ山に新しいLoctite Blue 242（あるいは同様のもの）を必ず塗布してください。

前側、後側、フォーククラウン裏側にあるフォーク取付位置全てでこれを行ってください（図2.1.1）。



図 2.1.1 フロントフェンダー取付ボルトの位置。  
左から前側、後側、クラウン裏側。

**警告:** フェンダーを再び取り付けの際は、バイクまたはフェンダーアセンブリーに付属するボルトを使用してください。これらのボルトはサイズが明確に指定されており、ロック機構を備えています。これらのボルトを使わないと、フェンダーが緩み、あるいは外れ、タイヤに巻き込まれてバイクが急停止する恐れがあります。

**警告:** フェンダーの取付ボルトが緩むことがあります。緩みを防ぐために、ボルトを取り付ける際は毎回、ネジ山に新しいLoctite Blue 242（あるいは同様のもの）を必ず塗布してください。ボルトに緩み止め防止剤を使わないと、フェンダーが緩み、あるいは外れ、タイヤに巻き込まれてバイクが急停止する恐れがあります。

# 知っておくべき5つの簡単なメンテナンス方法

誰もが機械に詳しいわけではありませんが、バイクに乗る方なら次の5つの基本的なスキルを取得しておきましょう。以下に主なものを示します。



## 1. タイヤを点検しよう

タイヤに適正空気圧を充填すれば、走りを楽しめます。タイヤの空気圧や磨耗を点検することが、バイクの性能を高める第一歩です。

### タイヤの空気圧を点検しよう

タイヤゲージやゲージ付きのポンプを使い、タイヤの空気圧を点検しましょう。

### タイヤに空気を入れよう（抜こう）

ハンドポンプを使って、タイヤのサイドウォールに記載された推奨空気圧か、リムの推奨空気圧のどちらか低い方までタイヤに空気を入れましょう。お使いのポンプが次のバルブに適合しているか確認してください：プレスタまたはシュレーダー（図 2.2を参照）。

プレスタ（仏式）



シュレーダー（米式）



図 2.2

プレスタバルブの場合、空気を入れる前に最上部のバルブを緩ませる必要があります。

タイヤに空気を入れ過ぎないようにしましょう。タイヤに推奨空気圧以上の空気を入れてしまった場合、空気を抜き、空気圧を再び点検してください。

**注:** ガソリンスタンドのポンプや電動コンプレッサーではなく、ハンドポンプやフットポンプを使いましょう。前者を使うと、タイヤに空気が入り過ぎてしまい、破裂する恐れがあります。

PSI	BAR	kPA
35	2.41	241
40	2.76	276
45	3.10	310
50	3.45	345
55	3.79	379
60	4.14	414
65	4.48	448
70	4.83	483
75	5.17	517

## 2. バイクを洗ろう

きれいなバイクに乗るのは気持ちが良いものです。見た目が良くなるだけでなく、バイクの寿命を伸ばします。お持ちのバイクの細部に常に注意を向けることで、メンテナンスの必要性を把握することができます。

必要なのはホース、バケツ、中性洗剤、柔らかいブラシ、タオルです。

バイクにホースで水をかけ、ブラシと洗剤を含んだ水で上から下に洗います。洗剤を洗い流し、タオルで拭きましょう。

**注意:** 高圧水を吹きかけると、パーツが損傷する恐れがあります。バイクを高圧洗浄機で洗わないでください。高圧水はまた、電子コネクター、モーター、コントロールローラー、その他電子システムのパーツに染み込むこともあります。

## 3. チェーンの油を落とし、注油しよう

適切に注油することで、チェーンが滑らかで静かに動き、寿命を伸ばすことができます。注油の前にチェーンを掃除（油を落とす）すると良いでしょう。

## 油を落とそう

汚れやすいので、おしゃれな服はクローゼットにしまっておきましょう。バイク専用ディグリーザー（生分解性だとなお良し）が必要です。専用のチェーン洗浄ツールもありますが、歯ブラシでも構いません。

ディグリーザーを歯ブラシやチェーン洗浄ツールに付け、ペダルを逆回転させながら、下側のチェーンを洗います。油を落とし終わったら、洗剤を含んだ水とブラシでチェーンを洗い、水で洗剤を洗い流して乾燥させましょう。

**警告:** リムのサイドウォールやディスクブレーキローターに潤滑油を付着させないでください。ブレーキ面に潤滑油が付着すると、ブレーキ性能が低下し、事故や怪我をする可能性があります。ブレーキ面に付着した潤滑油は全て拭き取りましょう。

## 注油しよう

バイクチェーン専用の潤滑油を使いましょう。ペダルをゆっくりと逆回転させながら、潤滑油を各リンクピンに塗布します。余分な潤滑油は拭き取りましょう。



図 2.3: 潤滑油は下側のチェーンに塗布しましょう。

**コツ:** 潤滑油を下側のチェーンに塗布し、チェーンの裏側に布を置いてください。こうすることで、チェーンステー（フレーム）やホイールに潤滑油が垂れず、汚れずに作業ができます（図 2.3）。

## 4. ホイールを着脱しよう

**警告:** e-bikeや、ハブブレーキまたはリアに内装ギアハブを搭載したバイクをお持ちの場合は、ホイールを外さないでください。ほとんどのハブブレーキや内装ギアハブの着脱には、専門知識が必要です。着脱を誤ると、ブレーキやギアが正しく作動せず、これにより操作不能に陥って転倒する恐れがあります。

**注:** ディスクブレーキをお使いの場合、ホイールを取り外した後にブレーキレバーを握らないよう注意してください。レバーを握ってしまうと、ブレーキパッドが押し出され、ローターをパッドの間に差し込みにくくなってしまいます。

## リアホイールを取り外そう

1. カセットの最小ギアへ変速しましょう。リムブレーキをお使いの場合、ケーブルを解放させるクイックリリース機構を開き、ブレーキアームを広げます。
2. ホイールのクイックリリース、ナット、またはアクスルを緩めましょう。
3. ディレイラー自体を掴んで後方に押し下げ、ホイールをドロップアウトから外しましょう。
4. ホイールを傾け、チェーンをカセットから外しましょう。カセットとディレイラーを上向きにしてホイールとバイクを置いてください。

## リアホイールを取り付けよう

1. ホイールが膝の間に来るようバイクの後ろ側に立ち、右手でリアディレイラーを掴んで手前に押し下げ、上側のチェーンをカセットの最小ギアに落としましょう。ホイールのアクスルを、フレームの一番奥まで入れましょう。

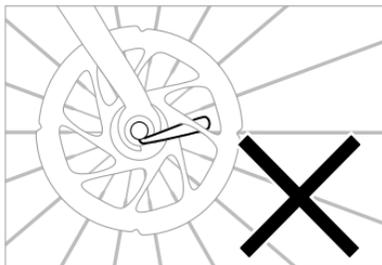


図 2.4

2. クイックリリースを締め付け、ドロップアウトの正しい位置で固定しましょう。クイックリリースをチェーンステイに平行となるよう正しく閉じないと、レバーがディスクブレーキローターと絡まる恐れがあります (図 2.4)。

3. リアブレーキのクイックリリース機構を閉じれば完了です (リムブレーキの場合)。

**警告:** クイックリリースを正しく調整しない、あるいは固定しないと、それが勝手に動いてスポークやブレーキローターと絡まる恐れがあります。加えて、ホイールが緩んだり外れて急停止し、操作不能に陥り、転倒する恐れがあります。バイクに乗る前に、クイックリリースレバーが正しい位置で固定されていることを確認してください。

クイックリリースに関して詳しくは、16および17ページをご覧ください。

## 5. タイヤを着脱しよう

このマニュアルでは、タイヤとチューブを使った通常のシステムを紹介します。他の種類のタイヤの場合は、ストアにお尋ねください。

## タイヤをホイールから外そう

1. チューブの空気を抜き、バルブナットを緩めましょう (プレスタの場合)。
2. タイヤをリムの上で緩めましょう。
3. 手またはタイヤレバーを使って、リムの片側からタイヤを外しましょう。スクリュードライバーなどの鋭利な物でタイヤを外さないでください。
4. 片側のタイヤが外れたら、チューブを取り外しましょう。
5. 手またはタイヤレバーを使って、タイヤをリムの反対側から完全に外しましょう。



### 第3章

# 参考文献

- 52 補足資料
- 54 サイクリングにまつわる用語集

## 補足資料

この基本的なマニュアルは、始まりに過ぎません。以下に、サイクリングをさらに楽しむのに役立つ補足情報を紹介します。

### How toビデオ

Electraの

YouTube チャンネル:

[youtube.com/user/ElectraBicycle](https://youtube.com/user/ElectraBicycle)

には、役立つハウツービデオがアップロードされています。



## 社会的責任

### PeopleForBikes

[peopleforbikes.org](https://peopleforbikes.org)

PeopleForBikesは、全ての人のためにより良いライドをもたらすことを目標としています。数百万ものライダー、事業、コミュニティのリーダー、選挙で選ばれた政府役員と協力して、人と人をつなげてより力強い団結した声を、サイクリングやその恩恵のために上げています。

### World Bicycle Relief

[worldbicyclerelief.org](https://worldbicyclerelief.org)

この組織は、地方生産された専用設計のバイクを、働いたり学んで所有する持続可能なプログラムを通じて、アフリカ各地の農村部に提供しています。

### DreamBikes

[dream-bikes.org](https://dream-bikes.org)

DreamBikesは、社会的に恵まれない環境で育った子供たちを雇用して、中古のバイクを修理して販売するよう訓練する非営利団体です。

### Trek 100

[trek100.org](https://trek100.org)

Trek 100は、ウィスコンシン州ウォータールーにあるトレックバイク本社が毎年主催するチャリティーライドです。集まったお金は、Midwest Athletes Against Childhood Cancer (MACC Fund) に寄付されます。

### NICA

[nationalmtb.org](https://nationalmtb.org)

National Interscholastic Cycling Association (NICA) は、学生向けのマウンテンバイクプログラムを展開し、コミュニティやコーチのために案内や指導を行っています。

## 保証

### Electra 限定付生涯保証

#### トレックが提供するお客様へのサポート

全てのElectra バイクには、製造上の欠陥に対する限定付生涯保証が付けられ、素材および/または製造上の欠陥によるElectra バイクのコンポーネントの交換を保証します。保証に関する詳細全文は、[electrabike.com/warranty](https://electrabike.com/warranty)でご覧いただけます。

#### 何よりも先に

Electra正規販売店に、保証を申請したいとお申し付けください。また購入を証明するものがが必要です。

# サイクリングにまつわる用語集

## ビード

ホイールのリムを囲むタイヤの一部。

## バーエンド

手を置く位置を増やすための、ストレートバーの端部と直角に交わるエクステンション。

## バイクシェア

レンタルステーションで手続きや清算をして、バイクを短時間レンタルできる、都市部における楽しく簡単に手頃な価格の交通手段。

## バイオモーション、体の動き

背景と対比をなす色で足先や脚の動きを強調して、被視認性を高めること。日中は蛍光カラーを、夜間は反射素材を使うと効果的。

## ケイデンス

ペダルを漕ぐペース（1分間の回転数）。

## キャブテン

タンデムバイクを操作する（ハンドル、変速、ブレーキ）ライダー。別名パイロット。

## チェーンガード

チェーンを覆うカバー。

## ドライブ側

チェーンやドライブトレインのコンポーネントが装着されたバイクの側。

## ドライブトレイン

ペダルにかかる力をホイールに伝えるシステム。クランク、チェーンリング、チェーン（またはベルト）、多段変速の場合はディレイラーとカセットからなる構成パーツ。

## ドロップアウト

シートステーとチェーンステーの接合部にある小さな溝。リアホイールスキューワースクワアックスルがこの溝に収まる。

## ダイナモハブ

ライトを点灯させるのによく使われる、ホイールのハブに組み込まれた小型発電機。

## 電動アシストバイク: e-bike

モーターとバッテリーでペダリングの力を増幅させるe-bike。電動モーターはペダルを漕がないと作動しない。

## ファットバイク

極太タイヤを備え、ありとあらゆる路面を走るために設計された、タフで高性能のマウンテンバイク。

## フレームセット

バイクフレームとフォーク。

## ハイビズ

ハイビズビリティ（高視認性）の略。ハイビズギアやアパレルは、ライダーの被視認性を高める。

## クロスバイク

ロードとマウンテンバイクの特徴を組み合わせた万能なバイク。街中と砂利道のどちらも得意だが、過酷なオフロード走行は想定されていない。

## パニア

フレーム、ハンドルバー、ホイール上側のラックに取り付けるバッグや小型のコンテナ。

## クイックリリース

ホイールをバイクに取り付けるためのパーツ。片方にねじが切れ、もう片方にレバーで操作するカム機構が付いた棒。

## ライドチューンド

最高の走行感を生み出すためのチューン。

## ロードラッシュ

転倒時に舗装路の上を滑ることによって生じる肌の擦り傷。

## シングルスピード

フリーホイールと1組のギアを備えた、美しくシンプルなバイク。

## シングルトラック

バイク1台分の幅しかないトレイル。

## ステアリングコラム

フレームのヘッドチューブに挿入されるフォークの一部。ヘッドセットを介してフォークをフレームに固定するために用いられる。

## ステップスルー

トップチューブが低い、それ自体がない、あるいはクロスバーのフレーム（別名オープンフレームまたはローステップフレーム）。

## ストーカー

タンデムバイクでハンドル操作を行わない方のライダー。

## タンデム

2人乗り用バイク。

## スルーアックスル

クイックリリーススキューワースクワアの代わりとなるパーツ。スルーアックスルは、ドロップアウトの穴に挿入される。強度と剛性により優れたアックスルであり、マウンテンバイクホイールでは長らく標準として用いられてきた。

## ウイリー

リアホイールだけで走りながらフロントホイールを空中に持ち上げる技。

# Electra Headquarters

## USA

Electra Bicycle Company  
1010 S. Coast Hwy 101 Ste. 101  
Encinitas, CA 92024  
お客様相談室 800-261-1644  
electrabike.com

## United Kingdom イギリス

トレックバイシクルコーポレーション:  
9 Sherbourne Drive, Tilbrook,  
Milton Keynes, MK7 8HX

## Europe

Bikeurope BV  
Ceintuurbaan 2-20C  
3847 LG Harderwijk, The Netherlands  
electrabike.com

# 生涯保証

For more, go to [electrabike.com](http://electrabike.com).

- |             |  |             |  |
|-------------|--|-------------|--|
| <b>AR</b>   | للמיד من المعلومات، قم بزيارة موقع <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a>                      | <b>JP</b>   | 詳しくは、 <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> をご覧ください。                              |
| <b>CS</b>   | Více informací naleznete na stránce <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                   | <b>KO</b>   | 더 자세한 사항은, <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> 을 방문하시기 바랍니다.                    |
| <b>DA</b>   | Få mere at vide på <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                                    | <b>NO</b>   | For mer, gå til <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                           |
| <b>DE</b>   | Weitere Informationen findest du auf <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                  | <b>NL</b>   | Voor meer informatie, ga naar <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .             |
| <b>EL</b>   | Για περισσότερες πληροφορίες, μεταβείτε στον ιστότοπο <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> . | <b>PL</b>   | Więcej informacji znajduje się na stronie <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> . |
| <b>ESES</b> | Para más información, entra en <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                        | <b>PTBR</b> | Para maiores informações, acesse <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .          |
| <b>ESMX</b> | Para más información, ir a <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                            | <b>PTPT</b> | Para mais informações, vai a <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .              |
| <b>FI</b>   | Lisätietoja saat <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> -sivustolta.                           | <b>RU</b>   | Подробнее см. на веб-сайте <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                |
| <b>FR</b>   | Pour en savoir plus, rendez-vous sur <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                  | <b>SK</b>   | Viac nájdete na stránke <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                   |
| <b>HE</b>   | לקבלת מידע נוסף, עבור אל <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                              | <b>SL</b>   | Več informacij najdete na <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                 |
| <b>HR</b>   | Saznajte više na <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                                      | <b>SV</b>   | Mer information finns på <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                  |
| <b>HU</b>   | További információért látogasson el az <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> oldalra.         | <b>UK</b>   | Щоб дізнатися більше, відвідайте веб-сайт <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> . |
| <b>IT</b>   | Per scoprire di più, vai su <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .                           | <b>ZH</b>   | 欲了解更多信息, 请浏览 <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> 。                              |

To see this manual in your language, go to [electrabike.com](http://electrabike.com)



AR	لقراءة هذا الدليل بلغتك، قم بزيارة موقع <a href="http://electrabike.com">.electrabike.com</a>	JP	あなたの言語でこのマニュアルを読むには、 <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> をご覧ください。
CS	Tuto příručku ve svém jazyce naleznete na stránce <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .	KO	해당 설명서를 한국어로 보려면, <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> 을 방문하시기 바랍니다.
DA	Du kan se denne brugervejledning på andre sprog på <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .	NO	For å se denne håndboken i ditt språk, gå til <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .
DE	Auf <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> findest du dieses Handbuch in deiner Sprache.	NL	Om deze handleiding in uw eigen taal te lezen, ga naar <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .
EL	Για να διαβάσετε αυτό το εγχειρίδιο στη γλώσσα σας, μεταβείτε στον ιστότοπο <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .	PL	Aby znaleźć tę instrukcję w swoim języku, odwiedź stronę <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .
ESES	Para consultar este manual en tu idioma, entra en <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .	PTBR	Para ver este manual em seu idioma, acesse <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .
ESMX	Para ver este manual en tu idioma, entra en <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .	PTPT	Para consultar este manual no teu idioma, vai a <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .
FI	Löydät tämän oppaan omalla kielelläsi osoitteesta <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .	RU	Для просмотра этого руководства на вашем языке перейдите на страницу <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .
FR	Pour consulter ce manuel dans votre langue, rendez-vous sur <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .	SK	Na zobrazenie tejto príručky vo vašom jazyku prejdite na stránku <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .
HE	כדי לראות מדריך זה בשפה שלך, עבור לדף <a href="http://electrabike.com">.electrabike.com</a>	SL	Če želite prebrati ta priročnik v svojem jeziku, pojdite na <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .
HR	Kako biste ovaj priručnik otvorili na svom jeziku idite na <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .	SV	Gå till <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> om du vill läsa bruksanvisningen på ditt eget språk.
HU	A kézikönyv saját nyelvéen való megtekintéséhez látogasson el az <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> oldalra.	UK	Цей посібник з експлуатації вашою мовою доступний на веб-сайті <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .
IT	Per leggere questo manuale nella tua lingua, vai su <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .	ZH	要查看您所用语言版本的本手册, 请浏览 <a href="http://electrabike.com">electrabike.com</a> .

Electra Bicycle Company® | お客様相談室 +1-800-261-1644 | [electrabike.com](http://electrabike.com)  
1010 S. Coast Highway 101, Ste. 101, Encinitas, CA 92024, USA

Electra Bicycle Company® GmbH, Falkenberg 29, 20251 Hamburg, Germany

© 2019 Electra Bicycle Company